

株式会社 小野建設

昭和34年、羽後町に創業して以来、土木・建築工事、解体業、住宅建築など総合建設工事業に携わってきた。近年は廃棄物の減量、省資源化、循環型社会を目指してリサイクル・農業事業にも取り組んでいる。また、『子供たちの未来のために』をスローガンに地域貢献活動にも積極的に取り組み、清掃活動、畑整備等を通して地域に根ざした活動もおこなっている。社員数49名。2014年10月に創業55周年を迎える。

地域に生きる大人として 子どもたちの未来へ 道しるべを示す

誇れるふるさとを目指して

昭和恐慌、大凶作、度重なる打撃に各地の農村が疲弊していた昭和34年、創始者の小野寅治さんは「いかにして集落が食べていくか」を案じ、住民たちのための仕事を始めました。以来54年間、子どもたちに誇れるふるさとづくりを経営理念に、幅広い事業内容で「ふるさとの幸せ創造業」を生業としてきました。建設部門では再生資源の活用に積極的に取り組み、無駄の少ない施工を心がけています。また、農業部門では平成19年にいちご狩りを楽しめる農園「こまち野」をオープン。羽後町を流れる雄物川の伏流水と

横手盆地をそよぐ風で育てたいちごを収穫して味わうことができ、県内外の家族連れに大好評です。同社では毎年正月に社訓を作成します。「今年の社訓はウマ年なので『元気な笑顔はウまい業となりウまい営みを重ねお客様の笑顔となる』。社員の笑顔はお客様の笑顔につながります」と、代表取締役の小野雅敏さん。すべての企業活動の根本には、人や地域、自然への感謝や思いやりの「心」が息づいています。

ペレットストーブの普及で 循環する地域へ

昨年10月、小野建設は新たな事

業として間伐材や林地残材を原料に作られた小粒の固形燃料「木質ペレット」を使用するペレットストーブの販売を開始しました。FF式ストーブのような感覚で手軽に使用できるため一般家庭でも扱いやすいところも魅力。杉の人工林が全国で最も多い秋田県では、官民が一体となって間伐材を使用した「エネルギーの地産地消」を目指し、ペレット普及促進に取り組んでいます。杉林は植栽から20~30年経過すると幹が太くなって林が混み合い、すべ

での樹木に十分な栄養が行き渡らず、弱い木になってしまいます。木が育つためには畑作の間引きと同様に間伐が必要。その間伐材を木質ペレットに加工し、燃料として活用、使用後の灰は菜園などの肥料になります。このペレットストーブが普及することは、雇用創出・森林整備・自然保全になり、自活する地域へとつながります。ペレットのやさしい炎、このあたたかさが子どもたちを包み、ふるさとへの愛着を育むことを願い、普及に力を注いでいます。



間伐材が燃料のペレットストーブ



住宅解体前に行う「柱供養」。住民の営みを支え続けた柱に感謝と敬意を。

株式会社 小野建設

tel.0183-62-0127 雄勝郡羽後町新町字最上山7-1
http://a-onoken.com/